

みんなで公園活用事業（パークファン）とは

パークファンは、公園での活動を周辺地域へと広げ、そこで暮らす方々の新たなつながりをつくることを目指して「公園でこんなことができたらいいな♪」「自分の住んでいる地域を良くしたい!」という思いを持った**“みなさま”が主役**の取り組みです!

公園がもっと楽しい(fun)場所となるように、そして公園のファン(fan)が増えるようにという思いを込めみなさまが公園で活躍するための最初の一步をみんなで実現します。

そのような思いから、パークファンでの活動は「イベント」ではなく、「パークファンプログラム」と呼んでいます。

パークファンが始まったきっかけ

令和2年11月に、鶴見緑地で実施した花博開催30周年記念イベント「PARK JAM」にて市民や事業者のみなさまが考えた、新たな公園の使い方や楽しみ方を体験できる「公園活用プログラム」を開催しました。

この「公園活用プログラム」の開催を通して、「公園をもっと活用したい!」というニーズが多いことがわかりました。

そこで、大規模な公園だけでなく、市民のみなさまが日常的に利用する地域の身近な公園ももっと自由な発想で、もっと楽しく、もっと柔軟に使いこなしていくための取り組みとして『パークファン』を始めました。

令和3~5年度の3年間で、計30プレーヤーにご参加いただき、計16区・30公園で計133回のプログラムを開催しました!

